

「神様の愛」 —先週の講壇より—

「あなたの知恵はほむべきかな。またあなたはほむべきかな。」

サムエル上 25 : 33 【口語訳】

パリ・オリンピックが近づき、各国の代表選も激しくなってきたようです。そんな中、女子競歩のヨーロッパ選手権の様子がニュースになっていました。ゴールを目の前にしたスペインの選手が、後ろから来たウクライナの選手に抜かれてしまい、そのスペインの選手はメダルを逃してしまった、という出来事です。それだけなら珍しいことではないように思うのですが、ニュースになった理由は、このスペインの選手がゴールを目の前にして、「私はメダル確実だわ」と確信し、ゴール直前で勝利のパフォーマンスを行ってしまい、そのスキにウクライナの選手がゴールしてしまったと、こういうことだったからです。まだゴールしていないのに気が早いパフォーマンスを行って負けてしまった選手の、その啞然とした顔がとても印象に残りました。ニュース解説者は「人生における大切なことを学んだ気がします」と言っていました。

私たちは人生という長い長い歩みを、何を見て進んでいるのでしょうか。他の人、周囲の状況、もちろんそれを無視しては生きられません。でもこの心の目がまっすぐにしっかりとイエス様を見据えているということ、それが真の知恵であるということが聖書のメッセージです。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦し給え。我らを試みに会わせず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを審き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2024 年 6 月 30 日



礼拝 : 9時半~

聖書の学び : 11時~



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ : www.occc.org



[教会年間聖句]

「主を仰ぎ見て、光を得よ」

詩篇 34 : 5

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:30

ブレイク : 10:30-10:45

聖書クラス : 10:45-11:45

(現在第二と第四または第五週)

